

## 生活安全協議会専門部会重点項目に関する活動報告

### 1 悪質商法・特殊詐欺対策について

#### 【現状】

- ・消費者センターでの相談件数は減少してきている。
- ・リフォーム工事や点検商法等訪問販売に関する相談は減少したが、通信販売や訪問購入に関する相談が増加している。
- ・スマートフォン等での広告をきっかけとした商品購入トラブルが増加している。
- ・刑法犯認知件数は多少増えてきている（自転車の盗難や電動アシスト自転車のバッテリーの盗難が増加している。）。
- ・特殊詐欺は非常に高い水準で発生している（預貯金詐欺や還付金詐欺、オレオレ詐欺が多い。）。

#### 【意見】

- ・商品購入の際、確認が足りないことが多い。
- ・通信販売にも適用されるクーリングオフ制度のようなものを拡充すべき。
- ・区民の方の危機意識が低い。
- ・特殊詐欺については、犯人の手口が巧妙化してきている。
- ・いわゆる「アポ電強盗」の対策も強化すべき。

#### 【対策】

- ・官民一体となった広報及び啓発活動。
- ・被害多発地域の高齢者の対する積極的な注意喚起。
- ・パトロール強化やデジポリス活用、「ストップ！ATMでの携帯電話」運動の推進。
- ・事前に下見をする強盗が増えてきている。そのため、在宅中もドアや窓を施錠し、来訪者に応対する際は、できる限り家の扉を開けず、インターホン等で対応すること。また、不審者の訪問や徘徊があった際には、110番通報すること。
- ・簡易型自動通話録音機の普及。

### 2 子どもに対する犯罪の防止策について

#### 【現状】

- ・区内では、令和4年中3件発生している。その他、犯罪被害までには至らない「前兆事案」として、子どもに対する声掛け等が多数発生している。

#### 【意見】

- ・状況に構わず、不審者発見時は、速やかな110番通報を行ってほしい。

#### 【対策】

- ・「メールけいしちょう」「Digi Police」による情報発信。
- ・小学校と連携した登下校時の警戒強化。

### 3 火災予防対策について

#### 【現状】

- ・区内、令和4年中の火災件数は、136件であり、令和3年から1件の増加とほぼ横ばいとなっている（都も同様に横ばいの傾向である。）。
- ・区内、令和4年中の火災による死者数は、2名（ともに高齢者）であり、令和3年から3名減少した。
- ・出火原因は、電気（電子レンジが増加している。）やガス、たばこ、放火が多くを占めている。放火については、減少しているものの、依然、多くの割合を占めているため、注意が必要な状況である。
- ・救急出場件数は増加している（都だと過去最多）。

#### 【意見】

- ・火災予防対策については、まず、電気火災に対する注意喚起（コンセント周辺の清掃や電子レンジの適切な利用など。）が必要である。
- ・区のごみ置き場は、外の集積場所に置く形式のものが多い。他自治体のような蓋つきの大きなごみ箱のようなものの導入も検討した方がいいのではないか。
- ・救急要請が多いため、救急隊が足りない状況が起きてしまい、現場到着の時間を要することがある。
- ・救急要請の中でも、軽症が半数を占めるが、高齢者においては、重症率が上がる。そのため、要請者が高齢者の場合は、迷わず119番通報してほしい。

#### 【対策】

- ・電子レンジを適切に使用すること。
- ・119番通報がつかない場合、近くの消防署及び消防車に駆け寄ったり、管轄の消防署の代表番号に架電したりする手段もある。
- ・放火されない環境づくり（家の周りの整理整頓に努めるなど。）が必要である。
- ・YouTube等を活用した情報発信。
- ・救急相談センター（#7119）の周知。

### 4 団体、個人の生活安全への取組

#### 【板橋防犯協会】

- ・年金支給日にATM前での呼びかけなど、特殊詐欺防止キャンペーン活動。
- ・キャンペーン活動や外出時でのコミュニケーション。
- ・スクールガード（下校時）。

#### 【志村防犯協会】

- ・年4回の防犯パトロール（午前7時から午前10時まで）。
- ・年2回、小学校PTAと合同での防犯パトロール。
- ・志村警察署と協力した防犯キャンペーン活動。

#### 【高島平防犯協会】

- ・毎月週1回の防犯パトロール（午後6時から午後7時まで。）。

**【小学校校長会】**

- ・夏休み期間を除く月1回（年間11回）、安全指導及び避難訓練。
- ・特殊詐欺などの犯罪に加担することの危険性等について、保護者への情報共有。

**【中学校校長会】**

- ・夏休み期間を除く月1回（年間11回）、安全指導及び避難訓練。
- ・SNS等を起因としたトラブル防止に向けた情報モラル教育。
- ・特殊詐欺などの犯罪に加担することの恐ろしさ、親族が被害に遭わないための対策などを啓発。

**【青少年健全育成地区員会連合会】**

- ・リモートやプリント配布での情報共有。

**【志村防火防災協会】**

- ・コロナ禍の影響のため、例年行っていた防火防災訓練を中止していた。